

～こころに笑顔の種がふる～

はあとふる

地域の皆さんに、

Warm Heart(人間愛) Cool Head(知識・判断) Beautiful Hands(高度な技術)で
ヘルスケアサービスを提供するためのコミュニケーション誌

2026.1
Vol. 81



本年もよろしくお願い申し上げます

2026

2026(令和8)年を迎えるにあたって

はあとふるグループ
代表ごあいさつ



はあとふるグループ
代表 島田 永和

リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪2025・開会式での大会長あいさつの様子

リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪2025

期日 2025年11月21日(金)～22日(土)開催

会場 大阪市中央区「マイドームおおさか」

主催 一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会／一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会／一般社団法人 全国デイ・ケア協会／一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会／全国地域リハビリテーション研究会／全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会／NPO法人 日本リハビリテーション看護学会

詳しくはP06へ

私たちの生活は、時間の流れとともにあります。それは天空の動きと関連し、季節が移り変わりますし、朝日とともに1日が始まり、日が沈んで夜を迎える日々が続いています。こうした時の流れを、どのように受け止めれば良いのか、暦を考え、分類するすべが古代から積み重ねられてきました。東洋では、甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の10種類からなる十干(じっかん)と、子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の12種類からなる十二支(じゅうにし)を組み合わせ、60を周期とする干支(かんし)が生まれました。

令和8年は、西暦(グレゴリオ暦)で2026年となり、干支では丙午(ひのえ うま)に当たります。明治以降では、1906(明治39)年、1966(昭和41)年に次いで、3回目の丙午の年となります。

日本の出生数の推移のグラフが厚生労働省の資料にあります。この図を見るとこの2回の丙午の年の出生率は下がり、出生数も少なくなっているのが分かります。1906年は、前年より出生数が約4%減少していますし、1966年はもっと激しく、25%の減少を示しています。

これは、「丙午年の生まれの女性は気性が激しく、夫の命を縮める」という迷信のために、庶民の間で出産を控える動きが広まったためと言われています。根拠のない迷信なのですが、社会的には強い影響力を持っていたのですね。この年に生まれ、育っていった女性には理不尽な圧力もあったと聞いています。

その丙午を迎えるのです。少子化が進み、働き

手の減少がこれからの国の経済にも影響すると言われる現代で、私は、もうこの迷信を受け止める人はいないと信じたいと思っています。子どもを産み、育てることは容易なことではありません。自由に使えるお金が必ずしも十分ではない環境であることは事実ですが、一方で、昭和の時代と比較すると、子育てを支援する制度はすいぶん整えられてきました。まず、若い人たちが結婚し、そして、次の世代を背負う子どもたちを持つことを躊躇せず、進んで欲しいと願っています。

社会としては、その若い力をサポートするよう、さまざまな障壁を想定しながら、これを越えることができるような仕組みを設定しなければならないと思っています。後期高齢者の仲間入りをする私としては、将来を見届けることはできないのですが、できることは何でもしたいと思っています。

そして、私たちはあとふるグループでは、今年も「動く」をテーマに活動を続けて参ります。動くことは、骨・関節・筋肉の障害を解決できる確実な方法であると同時に、がんや心臓病といった命に関わる病気に対しても有効な働きがあるのです。したがって、動くことの大仕事を広めながら、さまざまな年齢の、いろんな状況の方にとっての最適な方法での「動き」を、これからも丁寧にお伝えして参りたいと誓っています。

どうぞ、今年もよろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

それぞれの院長・施設長の2026年・午年に馳せる思いをお聞きください。

はあとふるグループ
院長・施設長ごあいさつ

昨年は特に物価上昇の影響が各方面でみられました。医療業界も強い影響を受けており、病院の苦しい経営状況がさらに浮き彫りになりました。経営破綻する病院の実態も多数、報道されました。このような危機的な環境の中、私たちどのように乗り切っていくべきなのか、真価が問われる年になるのではないかと考えています。



上本町運動器ケアクリニック
院長 **勝田 紘史**

はあとふるグループは、そのStatement(宣言)に、「私たちは、その人がそのらしく自分の人生を全うすることを“Warm Heart”“Cool Head”“Beautiful Hands”で支援します」を掲げています。このような危機的な状況だからこそ、より一層、宣言の実践を心がけ、効率的に良質な医療を提供できるチームやシステムの確立が必要なのであろうと考えています。

新年早々、肩肘を張った話になってしまいましたが、お正月ぐらいはウマが合う仲間や家族と、ウマいものでも食べて、今年もウマく乗り切りたいと思います。

本年もよろしくお願ひいたします。

本年は「午(うま)年」です。千里を走る馬のように、健康という未来へ力強く駆け抜ける年にしたいと存じます。

人口減少と高齢化が進む現代において、当院が患者さんに「選ばれる存在」であり続けるために何が必要でしょうか。

それは、従来から大切にしてきた「動いて治す」という搖るぎない軸に加え、医療を手術などの「点」ではなく、人生という長い時間軸の「線」や「面」で捉える視点だと考えております。

日本整形外科学会が創立百周年を迎え、社会全体に運動の重要性が広く発信されるようになりました。これは当院の理念が、時代の要請と合致した証でもあります。

本年は「攻めの予防医療」という視点を取り入れ、「高度なキュア(治療)」「生活を支えるケア」「未来を守る予防」の三本柱を一層強化してまいります。

予防から治療、そして術後のケアまで、切れ目のない医療を提供することで、地域の皆さまが、その人らしく輝けるよう全力でサポートいたします。

地域に根差し、進化を続けてまいります。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



運動器ケア しまだ病院
院長 **佐竹 信爾**

昨年11月には約2年半前からグループ全体で準備を進めてきた「リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪2025」を無事に終えることができました。スタッフ全体の結束の強さとともに「リハケアマインド」をあらためて確認でき、研究大会で大きな成果を得ることができたと感じております。

本年も八尾はあとふる病院は、リハビリテーション事業・介護事業・在宅事業を中心として、当院



八尾はあとふる病院
院長 **阪根 寛**

の強みを活かした医療、ケアをさらに発展させていきます。

加えて4月には歩行練習を支援し、訓練状況を可視化できるリハビリ支援ロボット「ウェルウォーカー」を導入予定です。患者さんが「自分の脚で歩く喜び」を取り戻せるよう、地域のみなさま、そしてスタッフ全員で「歩く喜び」を分かち合う取り組みです。そして本年も地域の皆さまとともに歩み、希望を分かち合う一年にしていきたいと思います。

午年は「成果を得るために努力を重ねる年」と言われます。掲げた目標を実現できるよう、日々努力を積み重ね、地域の皆さまに信頼される病院であり続けたいと思います。

た介護事業の職員による発表があり、多くの人の関心を集めました。私たちの取り組みをさらに発展させ、その人がその人らしい人生を送っていただくことを支援することを継続していきます。

感染症対策を万全に行いながら、悠久祭りや介護に関する勉強会の催しにも力を注ぎ、今後ともご利用者とそのご家族、そして地域の皆さまによりよいサービス提供を行っていきたいと考えています。



介護老人保健施設 悠久亭
施設長 **金岡 禧秀**

悠久亭は、その人らしい生き方に寄り添う老人保健施設として、ご利用者とそのご家族、そして地域のみなさまによりよいケアの提供を行ってまいりました。

2026(令和8)年も、より良いサービス提供、ご利用者の経験価値を高めることに重点を置きたいと思います。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年も「動いてナンボ!」のモットーのもと、体と頭を動かして体力維持と向上、身の回りのできることを増やす支援をしていきます。これまで通り「認知症ケア」「薬の調整」「アドヴァンス・ケア・プランニング(人生会議)の普及」に力を入れていきます。

昨年11月に開催されたリハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪2025にて、悠久亭をはじめとし

リハビリテーション・ケア 合同研究大会 大阪2025 diary

2025年11月21日(金)～22日(土)、大阪市中央区・マイドームおおさかにて「リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪2025」が開催され、全国から医療・介護・福祉従事者2,461名が集まりました。はあとふるグループは、この研究大会の事務局の任を担いました。

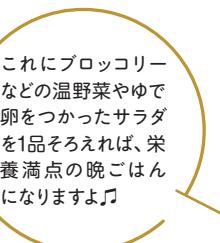


手間なし栄養満点ごはん！ サバ缶カレー

新しい年の始まりにご紹介するのは、超カンタン10分で美味しいできる「サバ缶カレー」。

骨まで食べられるサバ缶は、たんぱく質もカルシウムもビタミンDもたっぷりで、“動いてナンボ”的にぴったりなメニューです。

鍋ひとつでつくれるので、料理が苦手な方にもおすすめです。



はあとふるグループ
はびきのキャンパス 栄養チーム
マネジャー・管理栄養士
公認スポーツ栄養士
角野 章子

栄養価 (1人分)

エネルギー : 584kcal
たんぱく質 : 27.6g
脂質 : 18.9g
カルシウム : 290mg
ビタミンD : 10.5μg

材料 (2～3人分)

- ごはん 400g
- サバ水煮缶 1缶(150～200g程度)
- 長ネギ 1本 斜め薄切りに切る
- にんにくチューブ 2cm程度(好みでOK)
- トマトジュース 200cc
- 水 200cc
- カレールー 2片
- 油 少々
- お好みの野菜 (ミニトマトやベビーリーフなど)

作り方

- 鍋に油を熱し、長ネギとにんにくチューブを入れしんなりするまで炒める。
- ①にトマトジュースと水、サバ缶を汁ごと加え、沸騰したらカレールーを入れ、5分程度煮込む。
- ③ごはんに②をかけてあがり。

知って得する栄養豆知識

- たんぱく質** 体をつくるために欠かせない栄養素で筋肉や血液の材料となります。また骨の重要な成分となるコラーゲンもたんぱく質からつくられます。
- カルシウム** 骨をつくる材料になります。
- ビタミンD** カルシウムの吸収を助けています。

今号の記事

- 02 はあとふるグループ代表ごあいさつ
はあとふるグループ代表 島田 永和
- 04 はあとふるグループ院長・施設長ごあいさつ
上本町運動器ケアクリニック 院長 勝田 紘史／運動器ケア しまだ病院 院長 佐竹 信爾／
八尾はあとふる病院 院長 阪根 寛／介護老人保健施設 悠々亭 施設長 金岡 福秀
- 06 リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪2025 diary
- 07 はあとふる食堂 一管理栄養士の旬のレシピー
手間なし栄養満点ごはん！ サバ缶カレー

Statement — 宣言 —

私たちは、その人がその人らしく自分の人生を全うすることを
“Warm Heart” “Cool Head” “Beautiful Hands” で支援します

はあとふるグループ

医療法人はあとふる

運動器ケア しまだ病院

Tel.072-953-1001
Fax.072-953-1552

八尾はあとふる病院

Tel.072-999-0725
Fax.072-923-0180

Eudynamics ヴィゴラス

Tel.072-953-1007
Fax.072-953-1007

上本町運動器ケアクリニック

Tel.06-6774-1151
Fax.06-6774-1177

介護老人保健施設 悠々亭

Tel.072-953-1002
Fax.072-953-1911

▷通所リハビリテーション Tel.072-953-0045

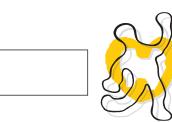
▷訪問リハビリテーション Tel.072-953-1002

介護サービスセンター
はあとふるTel.072-999-8126
Fax.072-999-6118

通所介護 はあとふるプラス

Tel.072-920-7216
Fax.072-920-7256

通所介護 悠々亭

Tel.072-979-7807
Fax.072-953-1911訪問看護ステーション
ハートパークはびきのTel.072-953-1004
Fax.072-953-0022羽曳野市西園域
地域包括支援センターTel.072-953-1003
Fax.072-955-8301

はあとふるグループ

<https://www.heartful-health.or.jp/>

株式会社はあとふる

▷Eudynamics ヴィゴラス やおstudio
Tel.070-9204-9667▷訪トレ はあとふる
Tel.070-8924-3358

社会福祉法人はあとふる

ヘルバーステーション
悠々亭Tel.072-931-1616
Fax.072-931-1128サービス付高齢者向け住宅
ゆうゆうハウスTel.072-931-1616
Fax.072-931-1128